

市町村名 今帰仁村

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (1-①), 教育環境充実事業, 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所, 第4章-5-(2)-ア. 担当部署名 (教育委員会 学校教育課), 事業実施(予定)年度 (平成25~令和13年度), 沖縄振興基本方針該当箇所, 確かな学力を身につける教育の推進.

事業内容: 児童生徒に対し、個々に応じたきめ細かなサポートを行うため、小中学校にそれぞれ特別支援員(有資格者)と特別支援員(無資格者)を配置する。

効果発現年度: 当年度 () 後年度()年度

実施方法: 直接実施 () 委託 () 補助 () 負担 () その他 ()

Table with 7 columns: 予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース), H30年度, R1年度, R2年度, R3年度, R4年度. Rows include (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A).

予算の状況の説明 計画に沿って事業を実施できたので適正であった。

Table with 5 columns: R4活動目標(指標), 達成状況 (R1年度, R2年度, R3年度, R4年度). Rows include 支援員の配置人数 (小学校(学)3人(特)9人, 中学校(学)1人(特)3人), 目標, 実績.

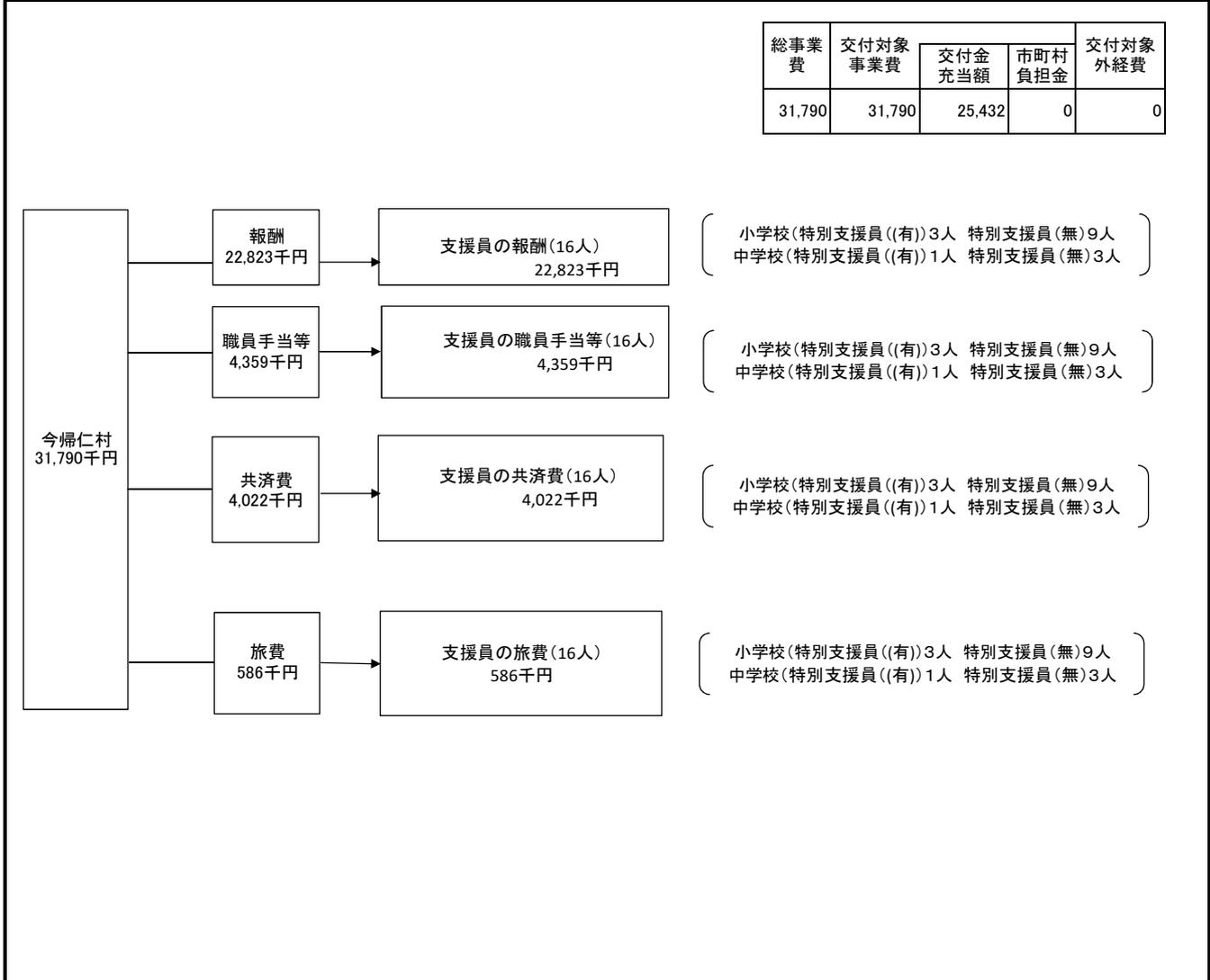
達成状況説明: ・特別支援員(有資格者)は、目標どおり配置した。 ・特別支援員(無資格者)は、目標どおり配置した。

Table with 7 columns: R4成果目標(指標), 基準値(年度), R2年度, R3年度, R4年度, 目標値(年度). Rows include 対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 目標, 実績.

進捗状況説明: ・アンケート結果について、特別支援員(有資格者)や特別支援員(無資格者)の配置により学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたとの回答が97%となり、目標を達成できた。

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援員(有資格者)は、各学校に1名配置が実施でき、学習支援の必要なクラスへサポートが行えた。 ・支援員は、全体支援を強化するために人員確保が必要である。 ・支援員の経験等により児童とのかかわり方や支援方法にばらつきがあることが考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度途中で退職者もいたが支援員の人員の確保に務め、目標人数を配置することができた。支援業務は多岐に及ぶことから増員を検討する。 ・状況は絶えず変化するため定期的に連絡会及び研修会を行い、支援員個々のスキル向上や各校の取り組みの標準化を図る必要がある。 ・個別の学習指導については、各校の児童生徒により必要な指導方法が違うため、各校の状況に合わせた支援を継続し実施していく。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・全体支援と個別支援をよりよく行こなえるよう連絡会・研修会を行い情報交換し、状況を把握する。 ・支援をバランスよく進めるため、教師と支援員の連携を密に行う。 ・現場職員と情報交換を行い人員の増員も含め、支援の必要なところには適切に配置、サポートする体制を構築する。 		

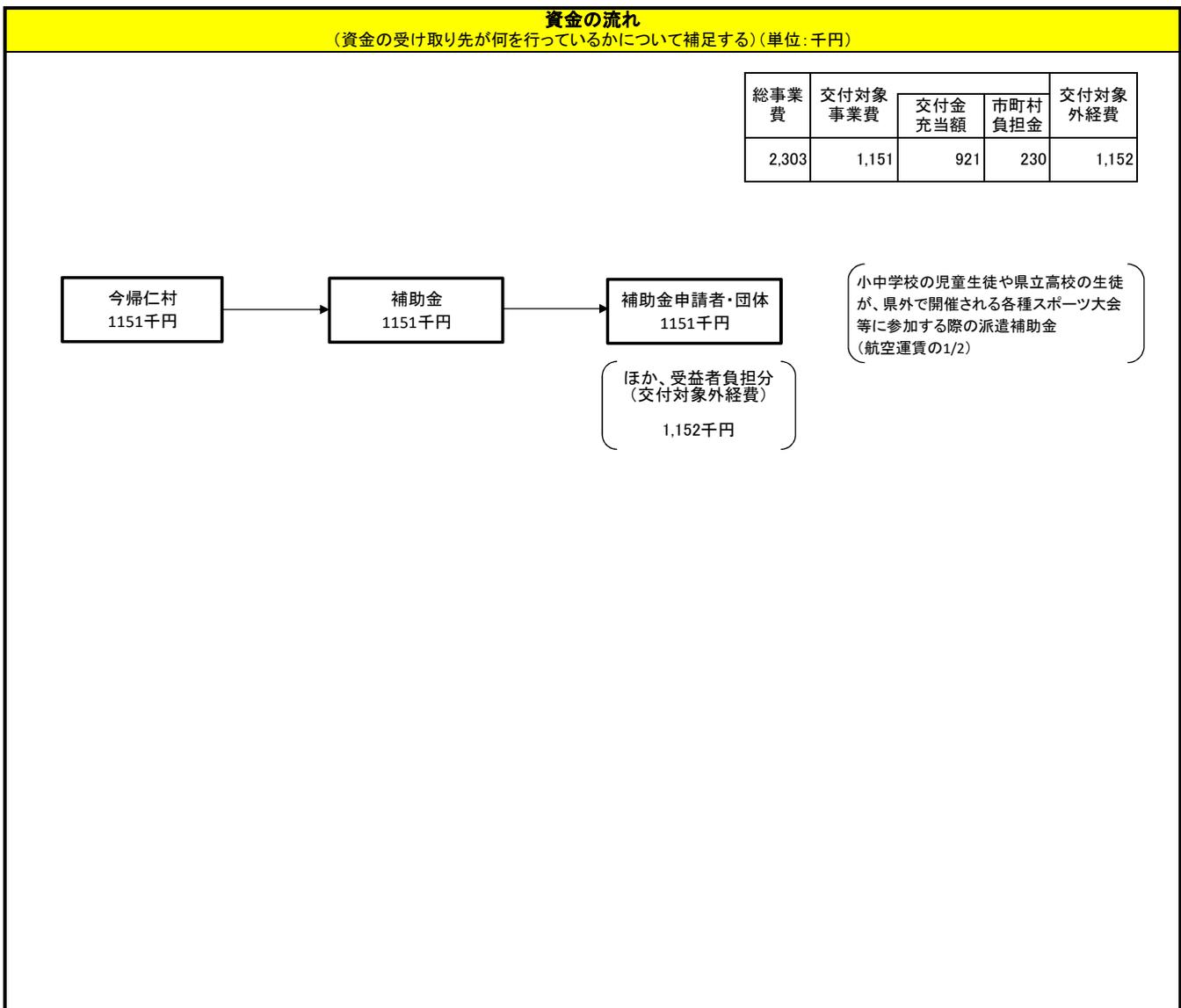
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○特別支援員については、公募にて行い面接決定している。特別支援員(有資格者)においては、「教員免許の所持」を条件として定めており、適切かつ妥当な選定である。 ○予算規模については、目標を達成でき、適切なものとなっている。 ○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	児童生徒等の県外派遣事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-3-(9)-イ	
担当部署名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	H25～R13		沖縄振興基本方針該当箇所	希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成	
事業内容	村立小、中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会等に参加する為の県外派遣費を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		967	1,330	350	750	1,299	
		-33	330	-650	-250	299	
		967	1,330	350	750	1,299	
		967	1,330	398	733	1,151	
		774	1,064	318	586	921	
			100.0%	100.0%	113.7%	97.7%	88.6%
予算の状況の説明	コロナ禍で落ち込んでいた実績が、R4年度はコロナ以前並みに戻った一方、全国支援割の影響で航空運賃の割引があったことや、年度末の派遣が重なり実績報告(予算執行)が年度内に行なえなかったため、予算現額(1299千円)と比べ執行額は下がった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	小・中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会等に参加する為の県外派遣の費用を支援する。		目標 (派遣費を補助)	(派遣費を補助)	(派遣費を補助)	(派遣費を補助)	
			実績 135名/17件	46名/6件	86名/13件	97名/18件	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	達成人数、件数ともに増えている。実績内訳は以下の通り。 ・小学校 6件(23名) ・中学校 6件(6名) ・高校 6件(68名)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	県外の児童生徒との競争や交流を通じて、児童生徒の視野が広がったか(目標80%以上)を含め、本事業を検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	97%	97.7%	88.6%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	保護者へのアンケートの結果、「県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がった」との回答が80%を超え、目標を達成した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から、事業利用者の満足度は高く、一定の成果が出ていると考えられる。 今年度はデジタルサイネージを活用した事業周知を行ない、これまで当事業を知らなかった保護者からも相談があった。 高校総体といった全国大会に出場するほどレベルの高い選手は派遣回数も多くなる一方、村外の学校へ通学しているために県外派遣補助金が受けられず、多額の自己負担が発生している状況がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続的に本事業を行ない、村在住の児童生徒のスポーツ活動を推進する。またデジタルサイネージ等を積極的に活用し、事業周知を行なう。 村在住でスポーツ活動に熱心に取り組んでいる児童生徒に対し、経済負担の格差が生じることは不公平であるため、公平性担保の観点から要綱見直しを行なった。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続的に本事業を行ない、村在住の児童生徒のスポーツ活動を推進する。またデジタルサイネージ等を積極的に活用し、事業周知を行なう。 要綱改正により、令和5年度から、村在住の児童生徒であれば学校所在地に関わらず県外派遣事業を利用できるようにする。 		



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・村要綱に基づき、各団体の申請に対する審査を行ない選定しているため、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は適正である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・村要綱に基づき航空運賃の1/2補助となっており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目、使途は村要綱で明示されており、各団体申請・実績に基づき真に必要なものに限定している。

市町村名		今帰仁村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③		キャリア教育推進支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ		
	教育委員会 学校教育課		事業実施(予定)年度	令和2年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	若年者の雇用推進		
担当部署名						Ⅲ-3-(1)		
事業内容	農業が基幹産業の本村にとって高校卒業を機に村外へ出る生徒が少なくない。地域の良さを再認識・再発見し新しい時代・環境に適應できる人材を育成する為、各校の授業カリキュラムと関係団体や地域人材と連携を行い、以て将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成に努める。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
		(a) 当初予算額	—	—	4,233	4,356	4,093	
	(b) 予算現額	—	—	2,363	2,708	3,667		
	(c) 増減額(b-a)	—	—	-1,870	-1,648	-426		
	(d) 繰越額							
	A. 計(b+d)	—	—	2,363	2,708	3,667		
	B. 執行済額	—	—	2,363	2,708	3,637		
	うち交付金充当額	—	—	1,890	2,165	2,910		
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)	—	—	100.0%	100.0%	99.2%		
予算の状況の説明	教育ファーム事業、プロデューサー育成事業、県外インターシップ事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて感染拡大防止の観点から予定を変更して実施したため、当初予算から548千円の減額が生じたが地域連携コーディネーター事業については計画どおりに執行することができた。							
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	キャリア教育コーディネーター・職業観を育む活動・経営意識を育む活動	目標	(—)	(1,800名)	(1,800名)	(1,800名)		
		実績	—	3,368名	3,714名	3,426名		
	・職業観、経営意識を育むため、子ども達が自分たちで考えたイベントやテナント運営を行う。	目標	()	()	()	(実施)		
		実績				実施		
	キャリア教育に係わる講演会	目標	()	(2回)	(2回)	(2回)		
		実績		0回	4回	4回		
	県外インターシップ研修事業	目標	()	(実施)	(実施)	(実施)		
		実績		中止	中止	実施		
達成状況説明	・地域連携コーディネーターの配置は、目標どおり配置した。 ・講演会は、新型コロナウイルスによる状況を鑑みながらの感染防止対策を含めた安全対策の強化を図り行うことができた。 ・県外インターシップ事業、教育ファーム事業、プロデューサー育成事業、については、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて感染拡大防止の観点から予定を変更して実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、各プログラムに参加した児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績		100%	98%	94%	
進捗状況説明	・キャリア教育を受けた児童へのアンケートの結果について、就業に対する意識が向上したとの回答が94%となり、目標を達成できた。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 県外インターシップ等の開催を始めとして、新型コロナウイルスの影響を受けて予定していた事業を一部変更して行なった。 職場体験受入事業所の開拓について、教員による開拓は限界があるため支援して欲しいとの要望がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 講習や交流会・講演会などにおいてWeb等を利用し学校においてもICTの活用に取り組んでいく。 安心安全に事業を行うため新型コロナウイルス等の感染防止対策を含めた安全対策の強化を図る。 事前研修や事後研修の内容や環境を充実していく必要がある。 就業意識の向上のため産・官・学が協力する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 3密を避けるなどの基本的感染対策・安全対策や新たな生活様式を取り入れながら事業を推進していく。 各校の児童生徒学年により必要な指導方法が異なるため、各校の状況に合わせた取組のサポートを継続し実施していく。 新しい環境で適応できる人材を育成するため、児童生徒の就業における意識の向上やスキルの向上に取り組む、実施予定事業の精査を行う。 今後も継続してキャリア教育の推進を支援していくことで児童生徒の就業意識の向上を図る。 		

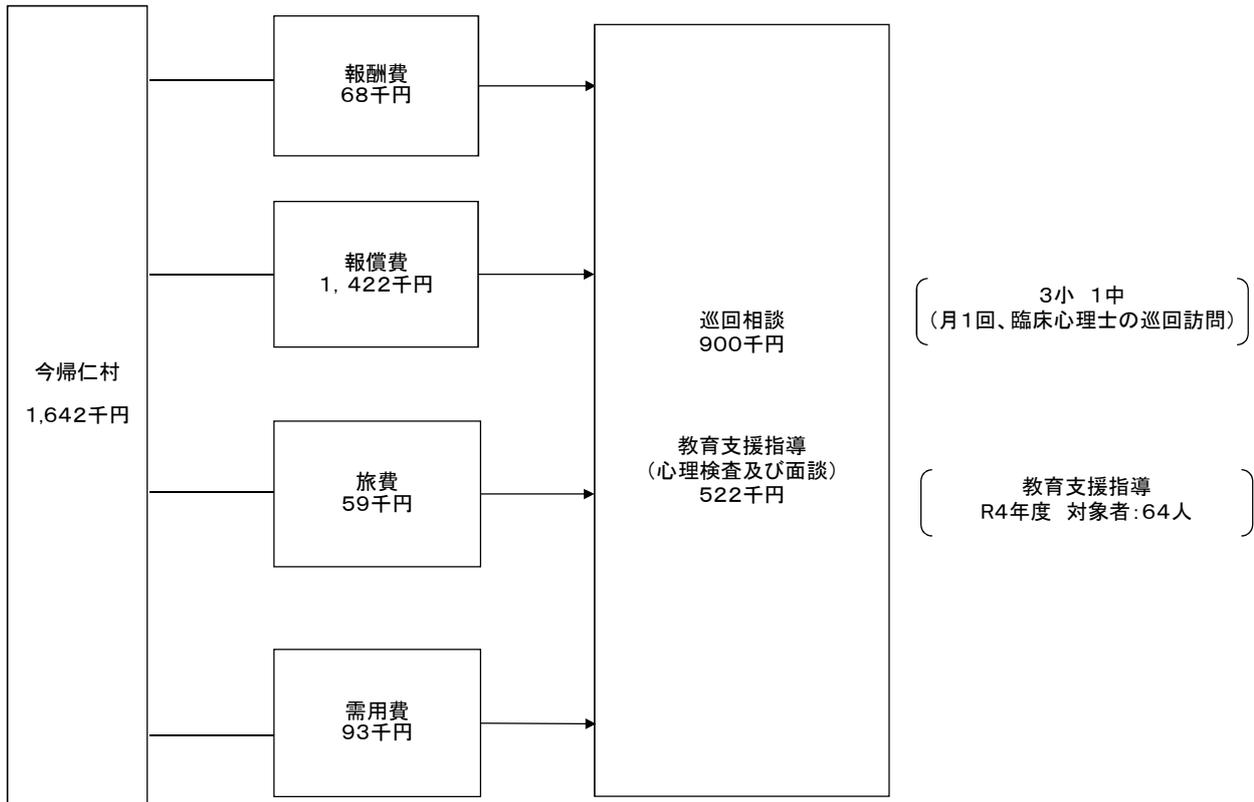
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	3,808	3,638	2,910	728	170
今帰仁村 3,638千円	報酬 1,984千円	地域連携コーディネーターの報酬 1,984千円 (1人)	〔 地域型就業意識向上支援に係る報酬 〕		
	職員手当等 380千円	地域連携コーディネーターの職員手当等 380千円 (1人)	〔 地域型就業意識向上支援に係る職員手当 〕		
	共済費 339千円	地域連携コーディネーターの共済費 339千円 (1人)	〔 地域型就業意識向上支援に係る共済費 〕		
	報償費 20千円	講演者謝礼金 20千円	〔 地域型就業意識向上支援に係る報償費 〕		
	旅費 829千円	旅費 829千円	〔 地域型就業意識向上支援に係る旅費 〕		
	需用費 69千円	消耗品費 69千円	〔 地域型就業意識向上支援に係る需用費 〕		
	役務費 7千円	役務費 7千円	〔 地域型就業意識向上支援に係る役務費 〕		
	使用料 10千円	使用料及び賃借料 10千円	〔 地域型就業意識向上支援に係る使用料 〕		
		〔 ほか、交付対象外経費 170千円 〕			
資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地域連携コーディネーターについては、公募にて行い書類選考及び面接により決定しており、適切かつ妥当な選定である。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業に必要なものに限定しているため適正な規模である		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。		
○		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名		今帰仁村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	教育支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-5-(2)-イ	
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	令和2年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進		
事業内容	特別支援教育の充実を図るため、村内小中学校において臨床心理士による巡回相談の実施や教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施し、障害を有する児童生徒に対する支援の強化を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	—	—	1,283	1,812	1,777
	(b) 予算現額	—	—	1,183	1,533	1,773	
	(c) 増減額(b-a)	—	—	-100	-279	-4	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	—	—	1,183	1,533	1,773	
	B. 執行済額	—	—	1,183	1,533	1,642	
	うち交付金充当額	—	—	946	1,228	1,313	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	—	—	100.0%	100.0%	92.6%	
予算の状況の説明	当初見込み(1,777)より、執行済額▲135となったが、ほぼ計画とおりに進めた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	定期巡回学校訪問(3小学校 1中学校) 回数:原則1校あたり月1回(3h)年12回		目標 ()	(小36回 中12回)	(小36回 中12回)	(小36回 中12回)	
			実績	小38回 中12回	小45回 中15回	小45回 中15回	
教育指導検査 内容:対象となる児童生徒の心理検査及び面談 回数:心理的検査64回、保護者面談61回		目標 ()	(検査55回 面談30回)	(検査46回 面談44回)	(検査55回 面談55回)		
		実績	検査42回 面談56回	検査46回 面談44回	検査64回 面談61回		
達成状況説明	臨床心理士及び教育指導検査員を派遣し、学校生活への不適応や対人関係で問題が生じている児童生徒に対して支援を行った。定期巡回相談は、臨床心理士が3小学校、1中学校に月1回(緊急対応月あり)学校訪問を行い特別な支援が必要な児童生徒へ面談を行った。教育指導検査は、対象となる児童生徒の心理的検査及び面談を行い、保護者へのフィードバックの際に検査結果の内容等説明しながら相談対応を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	対象となった児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した割合(61%以上)を含め、養護教諭や特別支援員へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(61%)	(61%)	(62%)	()
			実績	75%	91%	100%	
	【参考指標】過去の実績参考に設定。直近3年分の平均値を上回ることを目標に61%以上と設定した。 R1:対象80人 改善43人 53.7% R2:対象50人 改善32人 64.0% R3:対象53人 改善35人 66.0% R4:対象84人 改善57人 67.8% 平均61%		目標 ()	(61%)	(61%)	(61%)	()
		実績	64%	66%	68%		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 対象となった児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した割合の目標値は61%以上としたが、アンケート結果は100%が改善したとの回答であり目標値を上回った。 過去の実績を参考に直近3年分の平均値を上回ることを目標に61%以上としたが、実績では68%が改善したと回答があった。 						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士による巡回相談(月1回3時間)を実施することを目標としているが、各学校から実施時間の増や、午後からの対応希望がある。 教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施するにあたり、該当児童生徒が年々増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士による巡回相談の回数の増については、学校や臨床心理士と調整し適宜対応する。また、児童生徒だけではなく、対応にあたる教諭への指導やアドバイスが出来るよう、午後からの対応が出来るよう調整を行う。 特別支援教育の充実を図るため、教育支援指導員の確保に努めた。教育支援指導員による心理検査の実施及び面談、就学先決定後のフィードバックの充実を図る。
	今後の取り組み方針	
<p>臨床心理士による巡回相談は月1回3時間(午前中)を実施することを目標とするが、緊急時や午後にも対応出来るよう臨床心理士の確保に努める。また、児童生徒だけではなく、対応にあたる教諭への指導やアドバイスが出来るよう、教諭の対応が出来る時間の調整を行う。</p> <p style="text-align: right;">教育支援指導員</p> <p>(心理検査員)との、保護者や担任面談に関しては、通常同日で行っているが、対象児童生徒の増加により、調整が厳しい状況が多かった為、学校や検査員と要相談し、効率良い事業進行に努める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	負担金	
1,642	1,642	1,313	329	0



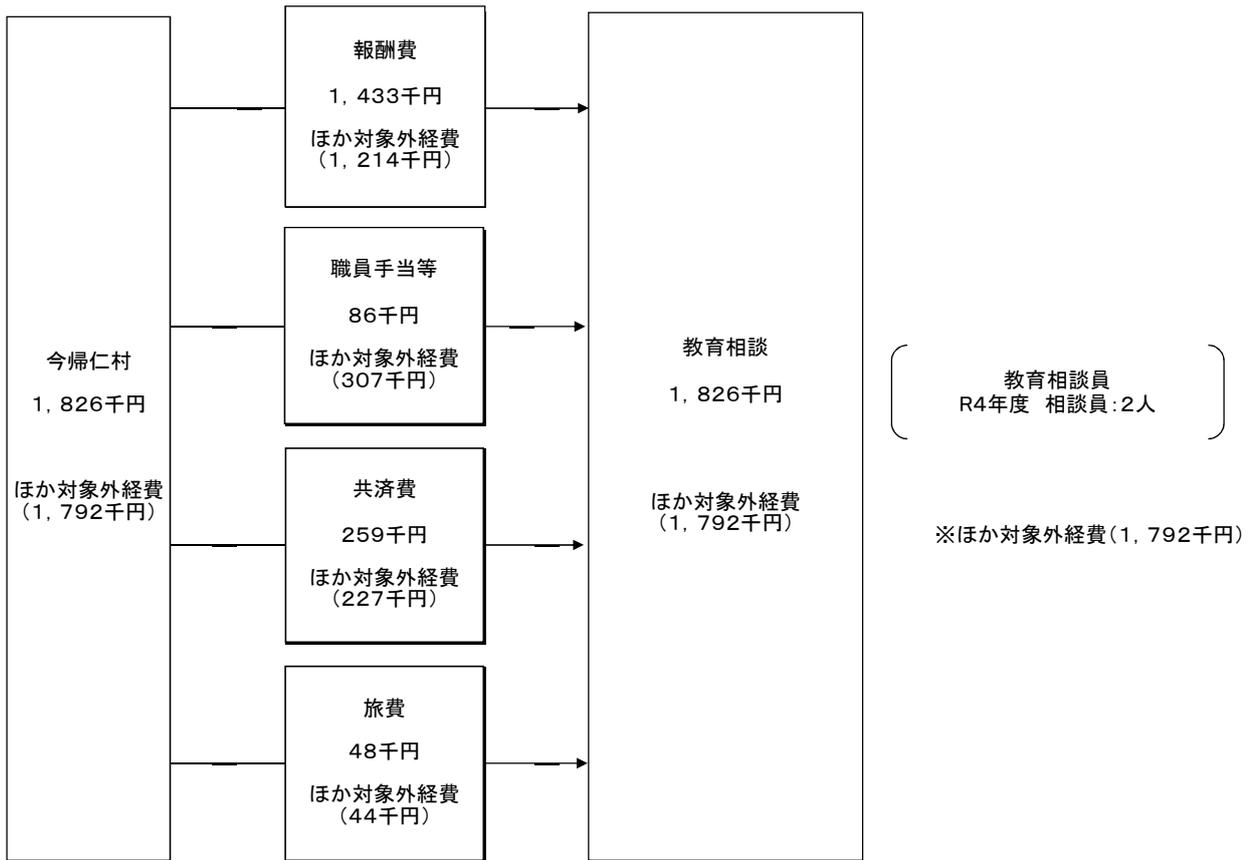
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○専門職へ委嘱しているため、妥当であったと考えている。 ○不用額はなしであり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	教育相談事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-5-(2)-イ	
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	令和2年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進		
事業内容	村内各小中学校と連携し、今帰仁村教育委員会に相談室を設置し不登校の改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	(a) 当初予算額	—	—	1,816	1,826	1,826
		(b) 予算現額	—	—	1,815	1,806	1,826
		(c) 増減額(b-a)	—	—	-1	-20	0
		(d) 繰越額					
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	B. 執行済額	—	—	1,815	1,806	1,826
		うち交付金充当額	—	—	1,452	1,444	1,460
		次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	—	—	100.0%	100.0%	100.0%	
	予算の状況の説明	今年度より、相談員を会計年度で採用したため、交付対象外経費が発生した。当初交付対象事業費はほぼ計画取りに進めた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	教育相談事業 今帰仁村教育委員会へ教育相談員を配置する。	目標	()	(2人)	(2人)	(2人)	
		実績		2人	2人	2人	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	今帰仁村教育委員会へ教育相談員を2人配置した。週三回の午前中勤務から、会計年度職員として任用し、ほぼ毎日相談室に相談員を配置することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	対象となる児童生徒の不登校や問題行動等の課題解決につながったかを含め、学校及び保護者に対するアンケート(87%以上)により本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	()	(87%)	()
		実績				89%	
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	対象となった児童生徒の学校や保護者へのアンケートを令和4年度より実施。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	不登校や問題行動等を課題を抱える児童生徒や保護者を対象にカウンセリングによる支援を行い、不登校の改善を図る。	児童生徒の不登校や悩みや不安を気軽に相談できる話し相手として、また保護者の相談相手として相談員を配置し、児童生徒及び保護者の悩みの根元を相互理解し、解決に向けて、寄り添い話し合い安心して登校出来るよう学校とのパイプ役とする。
今後の取り組み方針		
今帰仁村教育委員会にて配置している教育相談員2名の勤務体制を、週3日の午前中勤務から、週4日(1日7時間勤務)に増やし、多くの児童・生徒、保護者と関わる機会を増やす。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,618	1,826	1,460	366	1,792



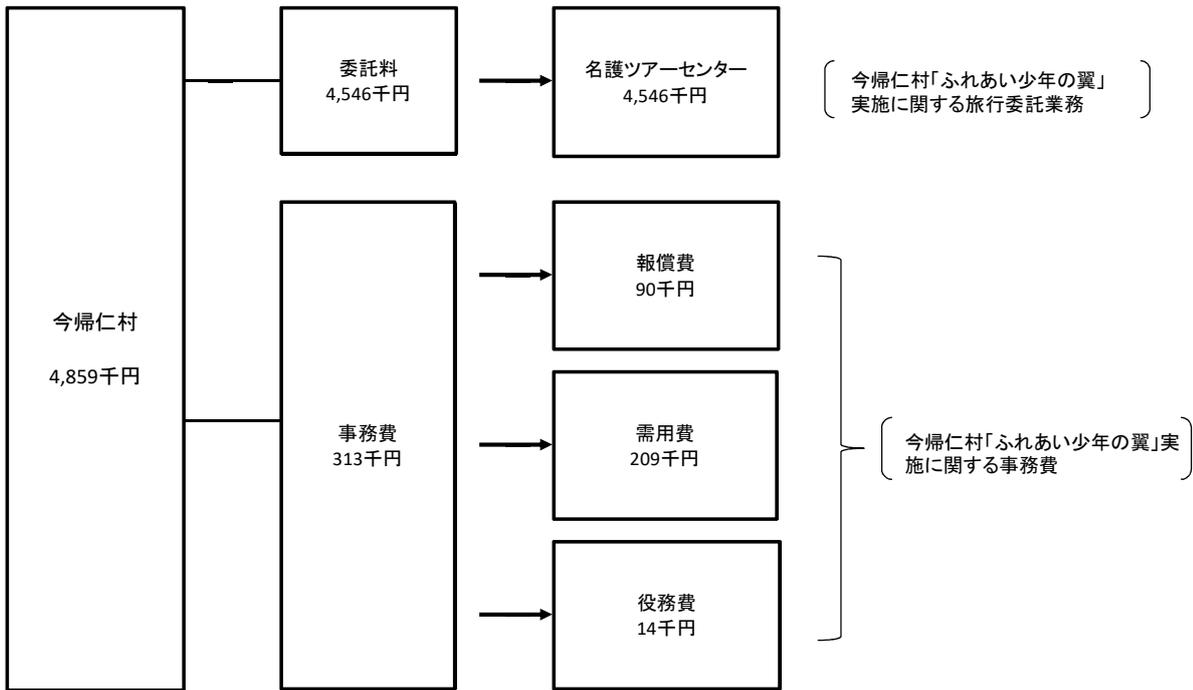
資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○相談員へ委嘱しているため、妥当であったと考えている。 ○不用額はなしであり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	今帰仁村							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥	人材育成事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-5-(1)-エ			
担当部署名	社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体をはぐくむ教育の推進			
事業内容	南国沖縄にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」である。そこで、子どもたちの視野を広げることを目的として、山形県酒田市の児童生徒と交流事業を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		4,617	4,617	5,586	5,586	4,265	
			4,888	4,588	0	0	4,265	
			271	-29	-5,586	-5,586	0	
			4,888	4,588	0	0	4,265	
	B. 執行済額		4888	4588	0	0	4,859	
	うち交付金充当額		3910	3670	0	0	3,887	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	113.9%	
	予算の状況の説明		当初、委託旅行会社の見積と、社会情勢により、燃料費をはじめとする物価が高騰し委託料に不足が生じるため増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	本村小学生を対象に、山形県酒田市の児童と文化学習会等の交流事業を行う。 派遣児童数:36人		目標	(36 人)	(36 人)	(36 人)	(36 人)	
			実績	35 人	事業中止	事業中止	36 人	
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	・山形県の文化に触れ、体験学習や交流を行い見聞を広めることができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	交流を通じて児童の異文化に対する視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績		事業中止	事業中止	100%	
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
	進捗状況説明	参加者は、派遣後事後研修において振り返りの作文を作成、発表を行った。 団員の個人のテーマ、班のテーマについて振り返りを行い、研修をとおして異文化に対する視野が広がったと大多数の団員が感じていた。 団員の振り返りをもとに参加者全員の報告書を作成した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、当初予定していた民泊を中止とした。	今後感染対策や事業のあり方について検討を要する。
	今後の取り組み方針	
本村の児童を対象とした人材育成のため、本事業を実施するためのあり方を検討していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
5,310	4,859	3,887	972	451

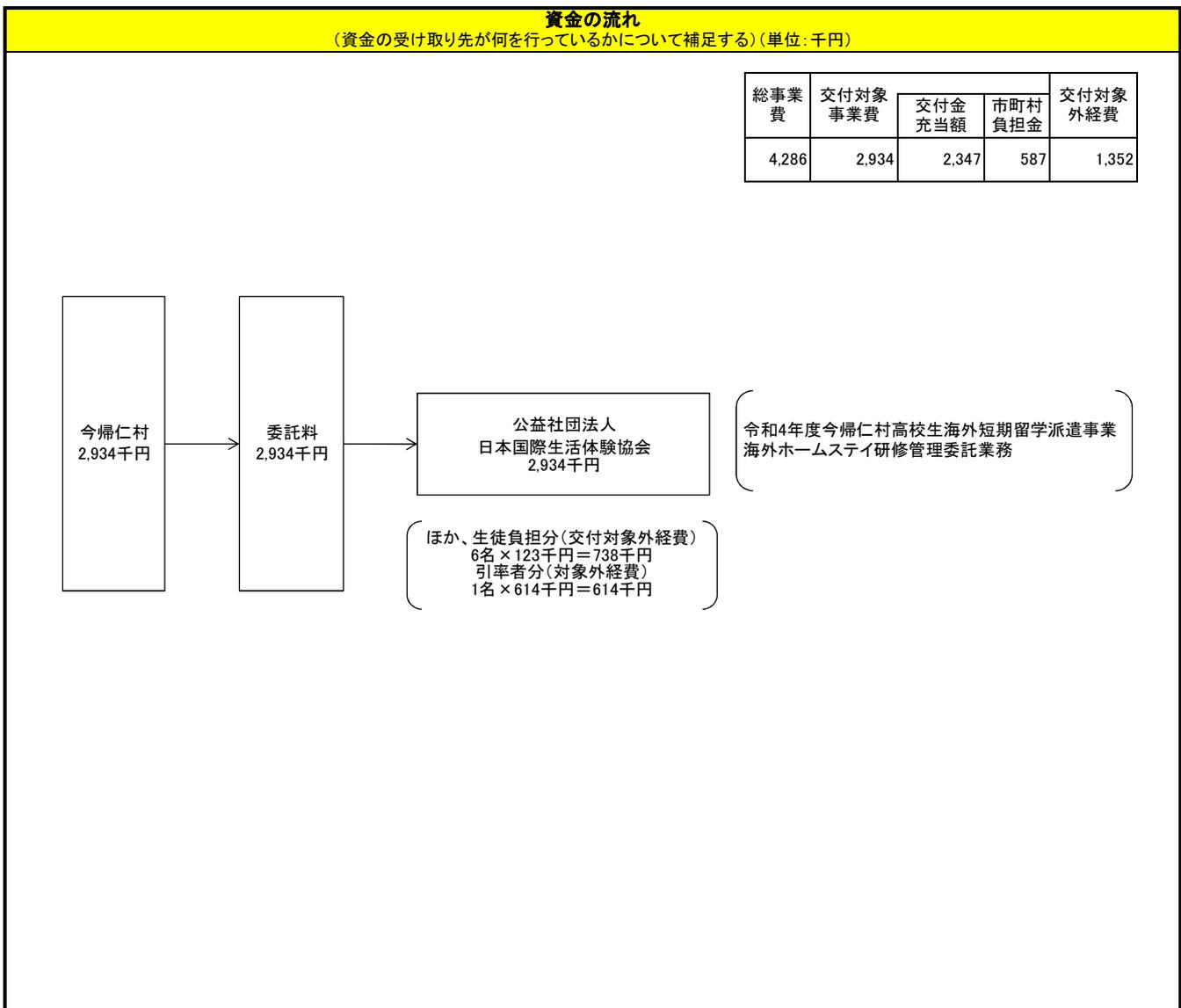


※対象外経費
委託料：360千円
旅費：91千円

資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者については、一般競争契約で選定し妥当であったと考える。 ○予算規模については、適正な規模だと考える。 ○小学生を対象とした交流事業を行う目的のための支出であり、関係する書類等を検証した結果適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦		中高生海外語学留学支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア	
	教育委員会 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成25年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身につける教育の推進	
担当部署名						Ⅲ-3-(1)	
事業内容	英語への関心・意欲を高め国際感覚豊かな人材を育成するため、本村の高校生の海外ホームステイを行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	3,442	2,726	2,731	2,731	3,828
	(b)予算現額	2,632	2,519	0	0	3,282	
	(c)増減額(b-a)	-810	-207	-2,731	-2,731	-546	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	2,632	2,519	0	0	3,282	
	B.執行済額	2632	2519	0	0	2,934	
	うち交付金充当額	2105	2015	0	0	2,347	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	89.4%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症により、中学生について事業を中止したため、その分予算は減額となった。高校生については計画どおり実施し、年度内で支払いを終え予算範囲内で適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	北山高等学校に在学する本村出身高校生6名をジョージア州に2週間ホームステイさせる。		目標 (中学生:2人 高校生:6人)	(中学生:0人 高校生:0人)	(中学生:0人 高校生:0人)	(高校生:6人)	
			実績 中学生:2人 高校生:6人	中学生:0人 高校生:0人	中学生:0人 高校生:0人	高校生:6人	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・高校生海外語学留学支援事業 高校生6人 留学先:米国ジョージア州 R5.2.20～R5.3.3まで ・事業計画どおりに高校生の海外ホームステイを実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	0%	0%	100%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	・帰国後の保護者アンケートで、「生徒の国際的な視野がより広まった」との回答が100%となり、目標を達成した。 ・生徒へのアンケートでは全員が異文化交流やコミュニケーション能力の向上等の目的を達成できたと回答しており、英語への関心・意欲が高まっただけでなく、今後の生活についても今回の海外ホームステイで学んだことを生かしていくことが伺えた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の海外ホームステイについて、新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止の決定後、実際に海外の英語や海外の文化に触れさせる方法を検討したが、長期休み以外の時期では日程調整が困難であった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施の決定が遅れたことで、事前研修等の期間がとてどもタイトになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休み以外での事業実施も視野にいれ、事前に学校と調整し日程の検討が必要。 ・十分な準備期間が取れるよう、事業実施の決定を早めに行うよう検討が必要。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況も鑑み、事業実施の判断を早めに行い、事前研修や事前準備の期間を十分に確保する。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で海外への留学が困難な場合には、近隣大学の留学生との交流を行うなど、村内中高生が英語や海外の文化に少しでも触れられる機会を作れるよう模索するとともに、併せて学校との日程調整を早めに行う。 		



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は派遣生徒の安全・安心が最も優先されるため、競争入札は、安全面等確保の配慮に欠けると判断し、日本国際生活体験協会との随意契約に至った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○高校生向けの海外留学を実施している委託先を選定し事業を行い妥当だと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業内容に見合った経費となっており、予算規模は適正である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○総事業費の2割相当額を自己負担(交付対象外経費)としているため受益者負担は妥当であると考えられる。 ○費目・使途については、語学留学支援や、研修費に使用し適正であった。

市町村名		今帰仁村																								
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】																										
事業番号・事業名	2-①		環境保全美化推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア																				
	担当部署名	経済課、建設課、住民課、社会教育課		事業実施 (予定)年度	平成24年～令和13年 度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)																			
事業内容	<p>・本村の観光拠点である今帰仁城跡や観光地及び観光ルートの美化作業を実施し、観光客の受入体制を整える。 また、観光地として魅力的な景観形成を図らため、観光地及び観光ルートの美化を行う。</p>																									
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)																									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()																									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況	H30年度					R1年度					R2年度					R3年度					R4年度				
		(a) 当初予算額	30,050					34,762					32,409					41,765					50,802			
	(b) 予算現額	32,264					35,762					31,560					37,330					49,249				
	(c) 増減額(b-a)	2,214					1,000					-849					-4,435					-1,553				
	(d) 繰越額																									
	A. 計(b+d)	32,264					35,762					31,560					37,330					49,249				
	B. 執行済額	32,264					26,577					30,311					36,050					41,218				
	うち交付金充当額	25,811					21,261					24,248					28,840					32,974				
	次年度繰越額																									
	執行率(%) (B/A)	100.0%					74.3%					96.0%					96.6%					83.7%				
予算の状況の説明		<p>・悪天候により美化作業が行えなかった日が多々あり、予算の減額を行った。 ・作業員1名が産前産後休暇を取得したため、予算の減額を行った。</p>																								
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況																							
			R1年度			R2年度			R3年度			R4年度														
	今帰仁城跡及び観光地の美化及び観光ルートの美化を行う。		目標	(観光地の美化作業の実施)			(観光地及び観光ルートの美化作業の実施)			(観光地及び観光ルートの美化作業の実施)			(観光地及び観光ルートの美化作業の実施)													
			実績	観光地の美化作業の実施			観光地及び観光ルートの美化作業の実施			観光地及び観光ルートの美化作業の実施			観光地及び観光ルートの美化作業の実施													
			目標	()			()			()			()													
		実績																								
達成状況説明		<p>・今帰仁城跡、古宇利島を中心とした村内観光地や文化財のある観光ルートの美化作業を実施し、目標を達成した。 ・観光ルートのハブ等駆除対策、不法投棄等パトロール及び投棄物改修・処理等を実施した。 ・今帰仁城跡、村内文化財及び観光ルート周辺の危険木の伐採を実施し、台風前後に撤去することで被害を少なくできた。 ・世界遺産今帰仁城跡、古宇利島を中心とした観光地及び観光ルートの美化作業を実地することにより、観光客に今帰仁村の魅力を十分に満喫してもらうことができた。</p>																								
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)																							
			R2年度			R3年度			R4年度			目標値(年度)														
	【成果目標】 今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標	()			(80%)			(80%)			(80%)			()										
			実績				85.3%			84.7%			90.5%													
	【参考指標】		目標	()			()			()			()			()										
		実績																								
進捗状況説明		<p>・観光客が村内の観光地を散策している状況のなかで、観光客が訪れる村内の観光地及び観光ルートの美化作業を実施することができた。 ・観光客等に対するアンケート調査の結果、「観光地として魅力的な景観が確保されている」との回答が90.5%となり、目標を達成した。</p>																								

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の増加、また訪れる場所の増加によって、ごみのポイ捨ての量や場所も増えている。 ・近年観光客が訪れる場所の増加もあり、美化作業を実施する場所も増加した。 ・悪天候が続くと美化作業が遅れ、当初計画していた日程等にズレが生じる。 ・宿泊施設等にもアンケート設置をしたが、回答を得る事が難しい。 ・今年度より、今帰仁城跡のネット上で回答出来るお客様アンケートに環境美化の項目を追加し、ネット上で回答出来る体制を取った。 ・飛び石が発生しないよう防護ネットを設置して作業しているが防護ネットを移動・管理する人員も2名必要になり、草刈り作業員が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ルートを正確に把握し、不法投棄パトロールや投棄物回収・処理をより強化していく。 ・地域住民からの声を聴き、美化作業場所の参考にする。 ・ネット上でのアンケート回答は頂けるようになったが、紙媒体では回答数が少ない。 ・作業委員の増加。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・作業人数の調整(班分けなど)や休憩・給水をこまめに行って、作業効率の向上、作業員の体力維持・精神面の安定の両立を目指したい。 ・地域住民や区長等からの情報収集によって、安心・安全な観光ルートの美化作業を継続的に実施する。 ・美化作業箇所が増加に対応し、観光地として魅力的な景観を保つため、必要となる作業員数を確保し、計画的に作業を進める。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

	総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
			交付金充当額	市町村負担金	
	41,707	41,218	32,974	8,244	489
今帰仁村 41,218千円	報酬 23,613千円	会計年度任用職員 16人	〔環境保全美化推進に係る報酬〕		
	職員手当 4,323千円	会計年度任用職員 15人(1人対象外)	〔環境保全美化推進に係る期末手当〕		
	共済費 4,228千円	会計年度任用職員 17人	〔環境保全美化推進に係る共済費〕		
	旅費 721千円	会計年度任用職員通勤手当 16人	〔環境保全美化推進に係る通勤手当〕		
	需用費 4,956千円	燃料費 1,495千円 消耗品費 2,362千円	〔環境保全美化推進に係る需用費〕		
	使用料 2,349千円	重機使用料 395千円 車両リース 1,782千円	〔環境保全美化推進に係る使用料〕		
	役務費 70千円	自賠責保険手数料	〔環境保全美化推進に係る役務費〕		
	委託料 511千円	危険木の伐倒	〔環境保全美化推進に係る委託料〕		
	原材料費 148千円	道路補修材料等	〔環境保全美化推進に係る原材料費〕		
	備品購入費 299千円	刈払い機等	〔環境保全美化推進に係る備品購入費〕		
	〔ほか、交付対象外経費 489千円〕				

資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○見積価格などを踏まえ支出先を選定しているため妥当である
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業に必要なものに限定しているので適正な規模である
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	今帰仁城跡ガイド強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部署名	社会教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界に通用する観光人材の育成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	今帰仁城跡における無料案内ガイドの実施、及びガイド内容の質向上を図るため、講演会・研修会の実施						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	(a) 当初予算額	3,700	3,700	4,000	3,700	4,000	
	(b) 予算現額	3,700	3,700	3,520	3,700	4,000	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	-480	0	0	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	3,700	3,700	3,520	3,700	4,000	
	B. 執行済額	3,700	3,700	3,520	3,626	3,700	
	うち交付金充当額	2,960	2,960	2,816	2,901	2,960	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	98.0%	92.5%	
予算の状況の説明							
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標	今帰仁村には世界遺産今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来場者に無料の案内ガイドが行われている。学ぶ会の更なる充実強化を図ることでガイド個々の資質向上が図られ、世界遺産今帰仁城跡の魅力を観光客にアピールすることができるため、ガイドの強化を行う。	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会、研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会、研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会、研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会、研修会の実施	
	実績						
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	令和4年度は臨時休業や団体予約の大幅なキャンセルなどなく、案内ガイド事業を実施することができた。今年度実施した歴史文化講座(9/7から9/29までの期間で全5回のべ21名参加)を通してガイド内容の質向上が図られている。なお、学ぶ会では月に1度定例ミーティングが行われており、ガイド間の情報共有やガイド長期経験者による新規ガイドサポート教育を実施予定など随時ガイドの教育が行われている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	ガイドによる来訪者の案内 12,000名	目標	()	(3,126名)	(11,500名)	(12,000名)	(12,000名)
		実績		5,070名	5,407名	11,049名	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	昨年度前半はコロナの急激な感染拡大があり、来場者数も伸び悩んでいたが、10月ごろから修学旅行や一般の団体予約などが入り始め、全体の来場者数は182,592名となった。しかしながら、コロナ前(R元年度以前)に比べると7割に達していない。令和4年度は歴史文化センターの展示内容の研修を実施し、研鑽を積んだ。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>令和4年度はコロナ禍による臨時休業などなく、また年度後半は修学旅行や一般の団体客が入り始めたが、まだ大幅な増加は無く観光の需要が高まっておらず、全体の来場者数はコロナ前(R元年以前)に比べると7割に達していないため、成果目標が未達成となった。</p> <p>ガイドの高齢化問題は解消されていない。</p>	<p>来場者数が増加することで無料案内ガイドの利用者も増えると考えられるので、学ぶ会HP上でも取り上げる等来場者数の増加に向けて取り組む。また、村全体としても観光促進のPRをしてもらい来場者数の増加につなげる。</p> <p>これまで村主催の「ガイド養成講座」もしくは「歴史文化講座」の受講修了者に対して、ガイド登録を行っていたが、高齢化問題への対策が急務となってきたため、新規ガイド希望者について、長期経験者によるサポート教育を行っていく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>令和5年度も引き続き講演会や研修会を通して、ガイド内容の質向上と各々の更なるスキルアップを図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,700	3,700	2,960	740	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者である「今帰仁グスクを学ぶ会」は、ガイド業務について10年以上の実績があり、業務の計画や現場の状況に詳しく、この主の業務に精通した人員を擁しており、委託先として妥当である。</p> <p>○予算規模については、観光客の増加に伴い予算増を検討する必要があるが、現状では適正である。</p> <p>○支出に関する書類を随時確認しており適正に支出の確認ができており問題ない。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

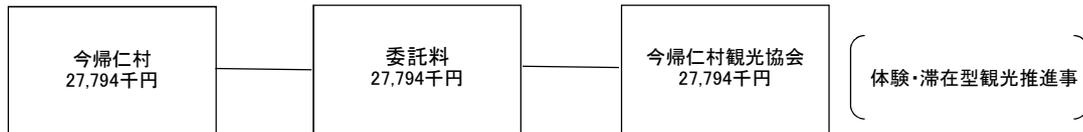
市町村名	今帰仁村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	今帰仁村着地型観光推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	令和元年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	本村の着地型観光を促進するため、民泊事業者等の受け入れ体制強化及び誘致活動を行い、新規教育旅行民泊客の増加及びリピート校の確保を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		—	0	11,727	20,990	19,790
			—	7,995	14,247	20,990	19,790
			—	7,995	2,520	0	0
			—	7,995	14,247	20,990	19,790
	B. 執行済額 うち交付金充当額		—	7,995	14,247	20,290	19,350
			—	6,396	11,397	16,232	15,480
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		—	100.0%	100.0%	96.7%	97.8%
	予算の状況の説明	年度末近くに委託料減額の変更契約を行ったため、予算の減額が行えなかった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	新しい生活様式に沿った民泊受入の実施(民泊家庭を対象とした、開発した教育プログラム等の講習会)	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	専属職員の配置	目標	(3名)	(3名)	(3名)	(3名)	
		実績	3名	3名	5名	3名	
	県内外での誘致活動	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
実績		実施	実施	実施	実施		
達成状況説明	・昨年度から引き続き新型コロナウイルスの影響もあり、感染症対策講習会などを行った。 ・専属職員を当初の目標通り配置することができた。 ・県外での誘致活動は営業のみではなく、次年度来村予定の学校にて事前学習授業を行ったりオンラインを活用し事前学習を行った。また、パンフレットや手引き等を、県外の旅行社や学校へ送付を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	民泊次年度予約数	目標	()	(16,000人)	(16,000人)	(12,000人)	()
			()	(70校)	(70校)	(70校)	()
		実績		15,739人 70校	14,201人 70校	11,103人 70校	
進捗状況説明	教育旅行民泊客(学校)は予約を1年前に確定するため、令和4年度に予約される令和5年度の民泊客の人数を成果目標としている。令和4年度の目標数値は新型コロナ前に設定された数値であるため高い目標数値となっており、予約延べ人数は11,103人で69.4%の達成率となり前年を下回った。						

市町村名		今帰仁村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④		今帰仁村体験・滞在型観光推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
	担当部署名	経済課		事業実施 (予定)年度		令和3年度～令和13年 度	観光客の受入体制の整備
事業内容	村内宿泊滞在者を増やすため、宿泊を伴う地域資源を活かした体験プログラムを創出し、村内宿泊者の増加を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	—	—	—	25,000	27,794
	(b) 予算現額	—	—	—	25,000	27,794	
	(c) 増減額(b-a)	—	—	—	0	0	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	—	—	—	25,000	27,794	
	B. 執行済額	—	—	—	25,000	27,794	
	うち交付金充当額	—	—	—	20,000	22,235	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	—	—	—	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		計画に沿って事業を実施できたので適正であった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	宿泊及び体験プログラムの創出	目標	()	()	(実施)	(実施)	
		実績			実施	実施	
	情報発信	目標	()	()	(実施)	(実施)	
		実績			実施	実施	
	宿泊観光客把握のための調査	目標	()	()	(実施)	(実施)	
実績				実施	実施		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・本村の地域資源を活かした体験プログラム及び宿泊プランを創出し、モニターツアーを行った。 ・働き方改革EXPOIに出展し情報発信を行った。 ・今回の調査は健康経営優良法人を対象に行った。 ・本事業の当初計画では令和3年度に体験プログラム創出を行い、令和4年度より販売を予定していた。しかし、令和3年度のアンケート調査による見直しの結果、ターゲットを個人旅行者から法人へ変更する必要があり、令和4年度はプログラム創出を行ったことから販売活動については未実施となった。 					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	新たな宿泊体験プログラムの創出	目標	()	()	(15件)	(15件)	()
		実績			15件	15件	
	体験プログラムの販売	目標	()	()	(0件)	(0件)	()
		実績			0件	0件	
連泊数3泊以上の村内宿泊観光客数300人増	目標	()	()	(300人増)	(300人増)	()	
	実績			0	0		
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・企業を対象としたプログラムを創出し、モニターツアーを行った。 ・令和3年度のアンケート調査によりターゲット変更の見直しに伴い販売活動は令和5年度より行う。また、宿泊観光客数増についても令和5年度以降の発現となる。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初は個人観光客を対象に事業開始したが、調査により個人観光客への情報発信より、企業を対象に情報発信を行った方が事業の効果が見込めると判断し、対象の変更を行った。	村の観光に対するコンセプトを設定し、村の魅力や特徴を伝わりやすくしていく。
今後の取り組み方針		
創出した体験プログラムのブラッシュアップを行い、継続的な事業者との連携および地域資源の活用を図り宿泊客の増加を目指す。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	市町村負担金	
27,794	27,794	22,235	5,559	0

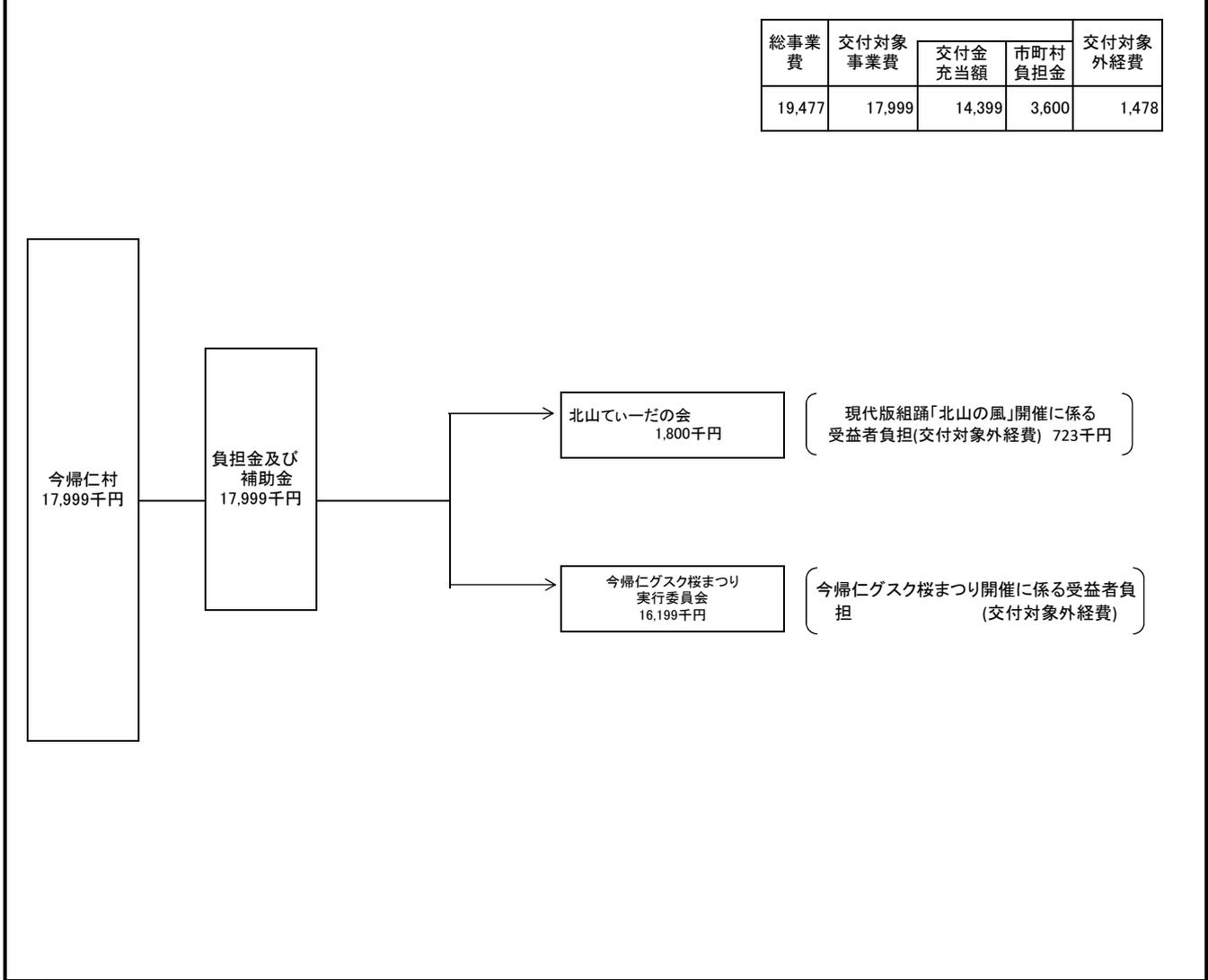


資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業者は、本村の観光事業者とのネットワークのある事業所であり十分な実績があることから妥当である。 ・予算規模については委託業者から見積書を徴し、事業目的を達成するために必要な委託費であり、適正であった。 ・用途について、精算時に事業目的達成の観点から内容を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤	観光力基盤強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(ウ)		
	担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進	
事業内容	今帰仁村の観光地としての知名度アップを図るため、「現代版組踊 北山の風」、今帰仁まつり、ハーリー、桜まつり、いいなまつり等の実施に対して補助する。また、今帰仁村総合運動公園を高校駅伝やハーフマラソンの拠点とすることで、民泊事業の導入拡大を図り、村観光協会と連携し、観光関連産業の活性化につなげる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	17,800	17,800	22,962	15,000	27,600
	(b) 予算現額	17,800	16,223	2,000	19,000	18,800	
	(c) 増減額(b-a)	0	-1,577	-20,962	4,000	-8,800	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	17,800	16,223	2,000	19,000	18,800	
	B. 執行済額	17,788	16,167	2,000	15,478	17,999	
	うち交付金充当額	17,788	12,933	1,600	12,382	14,399	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	99.9%	99.7%	100.0%	81.5%	95.7%	
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・【現代版組踊 北山の風】今年度は、計画通りに事業及び予算執行が出来た。 ・【今帰仁グスク桜まつり】ライトアップ範囲を縮小した事により不用額が発生したが概ね予算執行が出来た。 						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	現代版組踊「北山の風」(11月・2月)	目標	(11月・2月)	(11月・2月)	(11月・2月)	(11月・2月)	
		実績	10月・2月	3月	12月	1月・2月	
	古宇利島ハーフマラソン(4月)	目標	(4月)	(4月)	(4月)	(4月)	
		実績	開催中止	開催中止	開催中止	開催中止	
	今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり開催(1~2月)	目標	(1月)	(2月)	(1月~2月)	(1月~2月)	
実績		2月	開催中止	1月~2月	1月~2月		
今帰仁まつり(中止)	目標	(10月)	(8月)	(8月)	(10月)		
	実績	8月	開催中止	開催中止	開催中止		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・【現代版組踊「北山の風」】開催時期の変更はあったが2回の定期公演を実施し活動目標を達成した。 ・【今帰仁グスク桜まつり】活動目標を達成出来た。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、今帰仁まつり、古宇利島ハーフマラソン、今帰仁ハーリー大会、運天港いちやり場まつりについては中止となり、事業執行ができなかった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
		目標	()	(1,200人)	(1,135人)	(1,150人)	()
	実績			392人	1,278人		
	古宇利島ハーフマラソン(中止)	目標	()	(3,600人)	(3,620人)	(3,500人)	()
		実績		開催中止	開催中止	開催中止	
	今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり(中止)	目標	()	(48,000人)	(31,500人)	(30,000人)	()
		実績		開催中止	9,187人	27,215人	
今帰仁まつり(中止)	目標	()	(10,400人)	(10,400人)	(10,300人)	()	
	実績		開催中止	開催中止	開催中止		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・【現代版組踊「北山の風」】成果目標を達成した。 ・【今帰仁グスク桜まつり】桜の開花が例年と比べ早いと予想されており開催時期を設定したが、実際の開花状況(5分咲き)と差異が生じたことと、1日の暴風雨により夜のライトアップを中止した事で、成果目標を達成する事が出来なかった。 ・【古宇利ハーフマラソン、今帰仁まつり、今帰仁ハーリー大会、三村交流事業】新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、感染拡大防止の観点から開催を中止としたため、成果目標を測れなかった。 						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)	
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・【現代版組踊「北山の風」】令和4年度より県内各種イベント出演に併せて県外公演を取り入れPR活動を展開している。今後自走化に向けた取り組みを強化していくが、定期公演を実施していく上で、音響業者の発注が必須となり経費が大きく掛かり費用捻出が喫緊の課題である。 ・【今帰仁グスク桜まつり】令和3年度より、実行委員会の主たる事務局を観光協会に移管しているが運営スタッフのマンパワー不足があげられる。コロナ前の同等の規制・制限無しの実施だが、近隣国道の渋滞や駐車場不足を引き起こした。 ・【古宇利ハーフマラソン、今帰仁まつり、今帰仁ハーリー大会、三村交流事業】新型コロナウイルス感染症の影響で実施出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【現代版組踊「北山の風」】協賛集めの強化や定期公演のチケット料の引上げ等を検討したい。 ・【今帰仁グスク桜まつり】会場設営及び駐車場内誘導のアウトソーシングを実施し、企画・当日オペレーションに注力出来る体制を整える。 	
	今後の取り組み方針		
	<p>観光地として選ばれる地域になるためより一層充実したイベントを運営していく必要があると併に自走化へ向けて取り組んでいく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



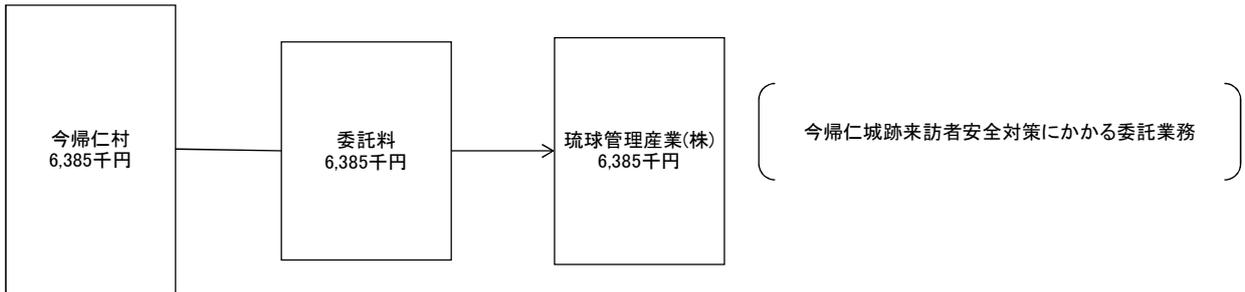
資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○イベントを開催する実行委員会に限定し、選定を行っており妥当な選定だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、各実行委員会でのイベントに見合った適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金については、各実行委員会において、事業費の一部を負担しており適正であった
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○各イベントの事業目的達成の観点から、費用額及び使途については必要なものであり、支出は適正であった。

市町村名	今帰仁村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥	観光地安全強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア		
担当部署名	社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受け入れ態勢の整備		
事業内容	世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全確保を図るため、繁忙期及びイベント時の車両誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,665	4,189	4,189	4,169	6,411
		(b) 予算現額	6,612	3,489	4,169	4,667	6,411
		(c) 増減額(b-a)	947	-700	-20	498	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		6,612	3,489	4,169	4,667	6,411
	B. 執行済額		6,612	3,489	4,169	3,820	6,385
	うち交付金充当額		5,290	2,791	3,335	3,056	5,108
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	81.9%	99.6%
予算の状況の説明		観光客数が増加傾向にあったため、例年通り実施。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	繁忙期(12月～2月)に今帰仁城跡の駐車場及び横断歩道に交通整理員を配置する。	目標	(交通整理員の配置 12月～2月)	(交通整理員の配置 12月～2月)	(交通整理員の配置 12月～2月)	(交通整理員の配置 1月～2月)	
		実績	交通整理員の配置 12月～2月	交通整理員の配置 12月～2月	交通整理員の配置 12月～2月	交通整理員の配置 12月～2月	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	観光客数がコロナ禍前と同程度に戻っており、桜まつりも実施したため観光客数、交通量ともに多かった。1月～2月の期間で整理員を配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件	目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実績		0件	0件	0件	
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	世界遺産である今帰仁城跡を訪れる観光客の安全確保を図るため、交通整理員を配置することにより、配置箇所における事故件数は0件となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	交通整理員の人員確保。プロ野球キャンプや他イベントも再開してきている。	交通整理員の確保に向けて、効率的な配置箇所及び配置人数を精査・検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
交通整理員の効率的な配置場所及び配置人数を精査・検証し、必要な交通整理員を確保する。 高いスキルを持った交通整理員を確保するため、早期に委託契約を締結する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
6,385	6,385	5,108	1,277	0

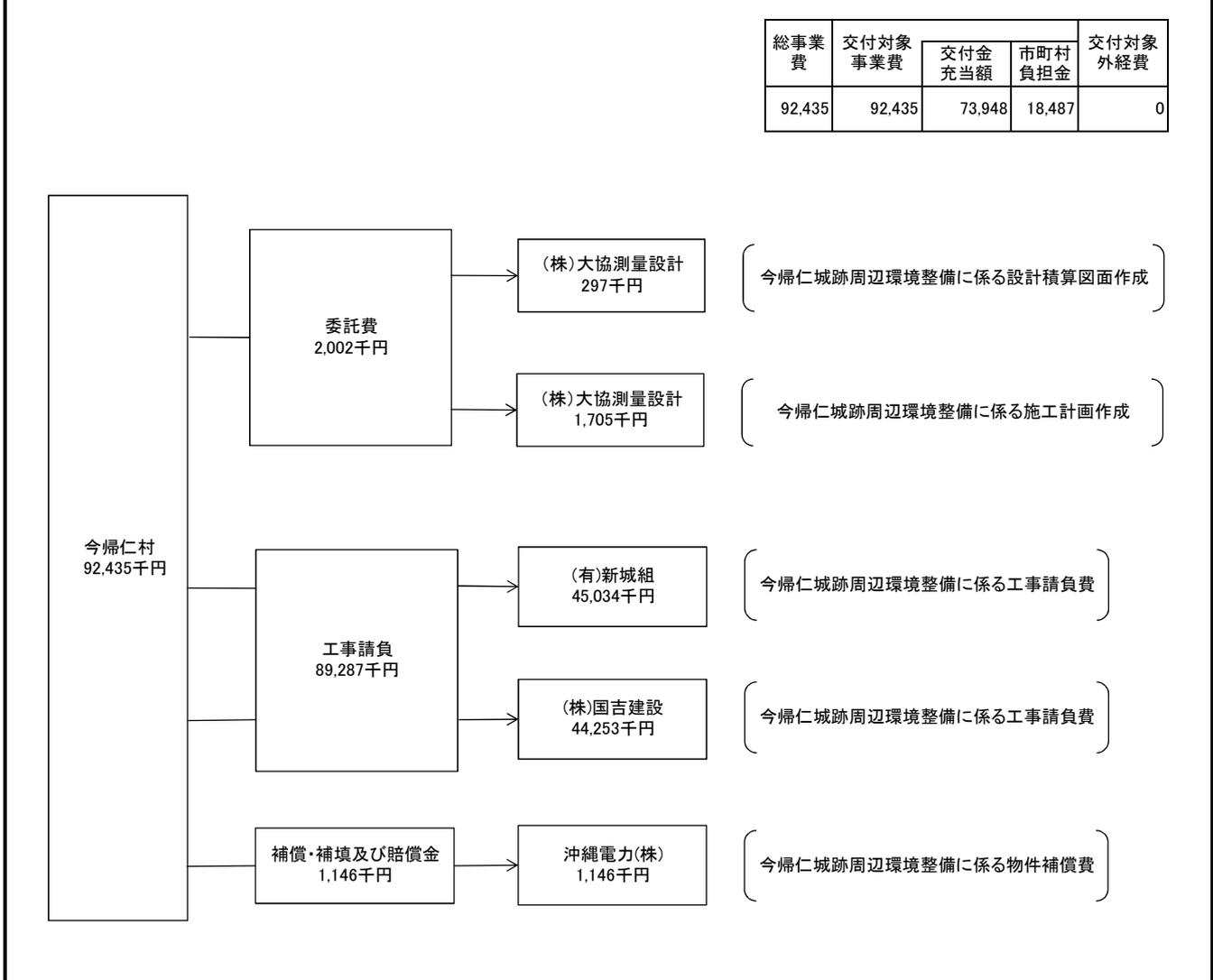


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、北部地区で1ヵ月以上の業務が可能な業者が1社であったため、当該業者と随意契約を行った。 ○予算規模については、過去事例と比較しており、適正な規模である。 ○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即しているものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦		今帰仁城跡周辺環境整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
	担当部署名	建設課		事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
事業内容		今泊集落内を流れる普通河川(今泊港川)を整備し、河川敷きなどの空間の有効活用、治水の安全度向上を図ることで、安全・安心な河川を再生し観光基盤を強化する。					Ⅲ-1-(1)
	効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和13年度)					
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 ■その他(補償費)						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	35,940	130,542	100,000	53,000	52,000
	(b)予算現額	29,916	130,168	79,111	38,027	94,245	
	(c)増減額(b-a)	-6,024	-374	-20,889	-14,973	42,245	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	29,916	130,168	79,111	38,027	94,245	
	B.執行済額	29,916	130,168	79,111	38,027	92,435	
	うち交付金充当額	23,933	101,608	63,288	30,421	73,948	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.1%	
予算の状況の説明		・事業間流用で41,692千円の増額。計画に沿って事業を執行できたので適正であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
	今泊集落内を流れる普通河川(今泊港川)の整備を行う。	目標	(右岸工事 L=190m)	(右岸左岸工事 L=60m)	(右岸工事 L=45m)	(右岸工事 L=70m)	
		実績	右岸工事 L=190m	右岸左岸工事 L=60m	右岸工事 L=45m	右岸左岸工事 L=68m	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		・令和4年度は、河川延長1,120mのうち河川整備工事(右岸L=33.6m、左岸L=34.4m)を実施。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R13年度)
	全体計画における6.1%整備(累積整備率70.1%)	目標	()	(L=60 累計整備率60.0%)	(L=45 累計整備率64.0%)	(L=70 累計整備率74.7%)	()
		実績		L=60 累計整備率60.0%	L=45 累計整備率64.0%	L=68 累計整備率70.1%	
	【R13成果目標】魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。	目標	()	()	()	()	(80%)
		実績					
進捗状況説明		・河川延長1,120mのうち河川整備工事(右岸L=33.6m、左岸L=34.4m)を実施し、全体計画における整備率6.1%(68m/1,120m)を達成、目標についても概ね達成することができた。累計延長785mとなり70.1%実施済みとなった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、県道と村道の交差点付近となっていることから、一般交通車両の安全面を十分配慮して、施工を行う必要がある。また、県道の道路管理者等、関係機関との調整を早期に行い、スムーズに整備が行える環境を整える。 ・成果目標の未達成の原因について、ガードレールを土中用から重力式に変更したことで金額が増となり、当初予定していた施工延長が短くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交差点付近での施工の際は、交通誘導員もしくは、簡易信号機を設置して、安全な交通を確保する。また、関係機関との調整を都度行うようにする。
	今後の取り組み方針	
<p>・今後は、令和5年度11工区間(右岸側L=42.0m)を予定していることから、6月に設計積算、7月現場説明～入札を実施し、8月初旬の工事契約を目指す。また、関係機関との調整を早期に行い、工期を年内完成に設定することで、早期着工、完成を目指す。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



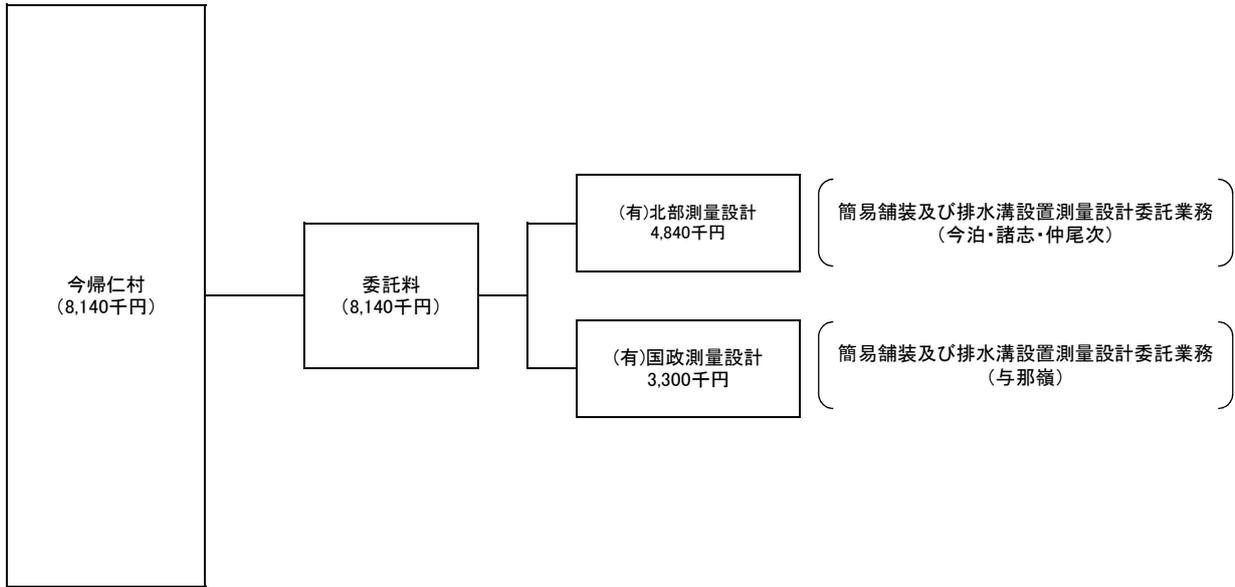
資金の流 用途の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○工事業者に関しては、指名競争入札方式で選定し、適切に執行した。 ○予算規模については、予算内で工事発注することができたことから、適正規模であった。 ○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑧	景観形成強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア	
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	快適で魅力ある観光まちづくりの推進		
事業内容	魅力的な景観形成を図る為、観光ルート且つ、昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備をおこなう。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R9 年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	127,000	64,774	61,119	12,011	10,571
	(b)予算現額	98,500	64,774	56,174	12,011	8,964	
	(c)増減額(b-a)	-28,500	0	-4,945	0	-1,607	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	98,500	64,774	56,174	12,011	8,964	
	B.執行済額	33,719	56,158	44,162	6,762	8,140	
	うち交付金充当額	18,661	53,241	35,330	5,409	6,512	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	34.2%	86.7%	78.6%	56.3%	90.8%	
予算の状況の説明	当初3箇所の測量設計委託業務を発注予定であったが、これを1業務としてまとめて発注し、さらに1箇所を追加で別途発注した。残額は入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
	観光ルート且つ、昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備とそれに伴う設計・測量・用地補償を行う。 ・簡易舗装及び排水溝設置測量設計委託業務	目標	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		実績	簡易舗装設計委託、張りコン設計委託、排水路整備設計委託、側溝設置設計委託、用地補償	張りコンクリート設置工事・排水路工事・簡易舗装工事・側溝設置工事	(用地補償、排水路工事)	(測量設計委託の実施)	
達成状況説明	簡易舗装及び排水溝設置測量設計委託業務について、計画通りに実施し目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R9年度)
	景観に沿った道路整備のための測量設計委託業務の完了	目標	()	()	()	(設計委託の完了)	(アンケート実施 80%)
		実績				設計委託の完了	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	令和4年度計画していた4路線すべての実施設計を完了した。次年度以降当該箇所の用地測量・工事を実施する。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業実施前に地権者等への説明を行い事業への理解と協力を求める。	地元自治体とも連携することで地権者の同意をスムーズに得られるよう改善が必要である。
今後の取り組み方針		
令和4年度に実施した簡易舗装及び排水溝設置工事を順次行う。また、令和6年度以降に工事予定箇所の実施設計もおこなう。あわせて、地権者の同意を得ながら、用地補償が必要な個所は用地測量を行い取得を進める。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
8,140	8,140	6,512	1,628	0



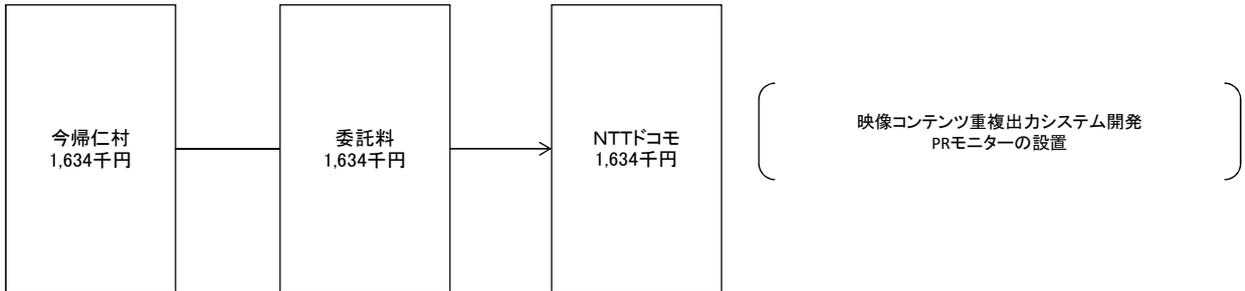
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村の契約規則に基づき、工事請負業者は指名競争により入札を行い、妥当であった。 ○予算規模は設計額に基づき発注しており適正な規模である。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なもの等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	今帰仁村							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑨	今帰仁城跡MRコンテンツ受入強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ			
担当部署名	社会教育課	事業実施(予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受け入れ態勢の整備 Ⅲ-1-(1)			
事業内容	今帰仁城跡の来訪者増加や満足度の向上を図るため、最新の映像技術(MR)を用い、今帰仁城跡の歴史をモチーフとした「体験型ゲーム THE BATTLE OF NAKIJIN」を活用した受入体制の強化を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額					1,800	
		(b) 予算現額					1,800	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)		0	0	0	0	1,800	
	B. 執行済額						1,634	
	うち交付金充当額						1,307	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	90.8%	
予算の状況の説明		今帰仁城跡の来訪者増加や満足度の向上を図るため、MRコンテンツの受入強化を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	映像コンテンツ重複出力システム開発 ・スペクテータービュー開発 ・MR機器 1機 ・モニター2台 体験者視聴映像共有用 受付窓口設置用		目標	()	()	()	() ・スペクテータービュー開発 ・MR機器 1機 ・モニター2台	
			実績				・スペクテータービュー開発 ・モニター2台	
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	今帰仁城跡の来訪者増加や満足度の向上を図るため、MRコンテンツの受入強化を行った。映像コンテンツ重複出力システム開発、PRモニターの追加設置							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(5年度)	
	今帰仁城跡の来訪者増加		目標	()	()	()	()	() 来訪者 30万2千5百人
			実績					来訪者 18万2千5百人
	今帰仁城跡MRコンテンツ体験者の満足度向上		目標	()	()	()	()	() アンケート実施満足度80%以上
			実績					満足度100%(6件)
	進捗状況説明	今帰仁城跡の来訪者増加や満足度の向上を図るため、MRコンテンツの受入強化を行った。映像コンテンツ重複出力システム開発、PRモニターの追加設置 MR機器本体の在庫が確保できず、2機目の導入はできなかった。 MR体験者へのアンケート調査実施						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	MR機器を1台のみ所有なので、連続使用(バッテリー)や不具合時の対応。担当職員の不在時対応。	新たにMR機器を購入するかどうか。事務所職員全員が対応できるようにする。
今後の取り組み方針		
実際に来場している観光客へのPRを行って、利用者数増や認知度を上げる。事務所職員全員が対応できるようにする。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
1,634	1,634	1,307	327	0



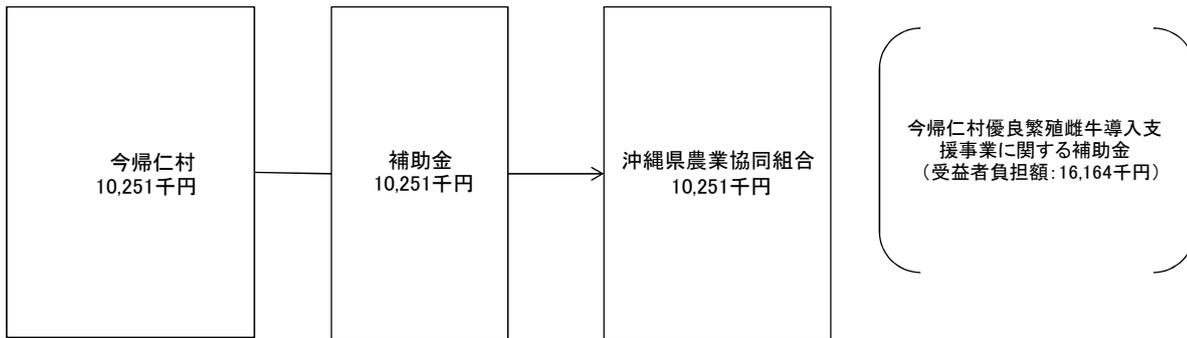
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、北部地区で1ヵ月以上の業務が可能な業者が1社であったため、当該業者と随意契約を行った。 ○予算規模については、過去事例と比較しており、適正な規模である。 ○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即しているものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(7)-ア		
	おきなわブランドの確立と 生産供給体制の整備						
担当部署名	経済課	事業実施 (予定)年度	平成26年度～令和13 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)	
事業内容	安定した素牛生産地の確立に向け、素牛のブランド化を推進するため、今帰仁村和牛改良組合による沖縄県農業協同組合からの優良繁殖雌牛(貸付牛)の導入に対して支援する。						
効果発現年度	■当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	10,500	10,500	10,500	10,500	10,500
	(b)予算現額	9,989	10,073	10,087	10,330	10,500	
	(c)増減額(b-a)	-511	-427	-413	-170	0	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	9,989	10,073	10,087	10,330	10,500	
	B.執行済額	9,989	10,073	10,087	10,330	10,251	
	うち交付金充当額	7,991	8,058	8,069	8,264	8,200	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.6%	
予算の状況の説明	当初計画(21頭)よりも3頭増の計24頭の優良繁殖雌牛を導入し、執行残(249千円)は他事業へ流用した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標	今帰仁村和牛改良組合員が沖縄県農業協同組合の貸付牛等の繁殖牛を導入する際に1頭あたり50万円を上限に支援を行う	1頭あたり50万円を上限に支援()	1頭あたり50万円を上限に支援()	1頭あたり50万円を上限に支援()	1頭あたり50万円を上限に支援()	
	実績		1頭あたり50万円を上限に支援の実施(平均1頭48万円)	1頭あたり50万円を上限に支援の実施(平均1頭46万円)	1頭あたり50万円を上限に支援の実施(平均1頭47万円)	1頭あたり50万円を上限に支援の実施(平均1頭43万円)	
	目標	21頭の導入を支援する。	(21 頭)				
実績		21 頭	22 頭	22 頭	24 頭		
達成状況説明	当初計画(21頭)よりも3頭増の計24頭の優良繁殖雌牛を導入し、1頭あたり50万円を上限に支援を行った。(平均1頭43万円)						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	目標	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合	()	(112%)	(110%)	(105%)	()
	実績			105%	103%	100%	
	目標	【参考指標】	()	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	成果目標達成とはならず、導入牛からの子牛と導入牛以外の子牛との価格差は100%と前年度比で下落となっている。セリ価格自体も昨今の物価高騰の影響により前年度比で大幅に下落している。 【R4年度セリ結果(R4.4月～R5.3月)】 ・導入牛以外の子牛 平均 656,611円 ・導入牛(H26～R3)の子牛 平均 656,900円						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定していた頭数(21頭)よりも3頭増となる計24頭の優良雌牛を導入したが、執行残(249千円)が発生してしまった。 ・昨今の物価高騰の影響により、セリ価格の減少に伴い小規模経営農家の母牛導入が減少傾向にある。 ・村内農家に対し平等に導入支援が出来るように事業を行う。 ・成果目標については、コロナ禍の影響により需要が減り競り値が下落した為、未達成となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・優良雌牛を導入し、更なる牛の品質の向上及び老廃牛更新の為に、引き続き未導入農家やこれまでに導入頭数の少ない農家に向けた事業説明を行い、今一度認識してもらい事業実施する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の母牛の品質向上を図るため、導入した牛から産まれた雌子牛のうち、発育良好な雌牛を保留する。 ・本事業導入農家を選定する場合は、全体の老廃牛更新を促すためにも未導入農家や導入頭数の少ない農家から優先事項として行う。 ・多くの農家へ導入支援ができるよう未実施農家への情報提供を積極的に行う。 ・更なる母牛の更新、母牛得点の向上を図りつつ、将来にわたって継続的かつ安定的な生産地の確立に繋げるため事業導入牛の優良系統を引き継ぐ産子の保留を推進していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
26,415	10,251	8,200	2,051	16,164



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助先の沖縄県農業協同組合は実績もあり村和牛改良組合とも連携を図れることから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、計画頭数を導入することが出来たため適正規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担は、17,655千円で総額(27,985千円)の63%となっており負担関係は妥当だと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。